

# 米代川上流部・下内川 洪水ハザードマップ



市では「米代川上流部・下内川」を対象とした洪水避難地図(洪水ハザードマップ)を作成しました。

このマップは、国土交通省と秋田県が公表した浸水想定区域図(50年に1回程度の大雨で堤防から水があふれたり決壊したりすることを想定)を基に作成したもので、平成20年9月に「米代川下流部・長木川」の浸水想定区域を対象として全戸配布した「防災マップ」に次ぐ第2版となります。

いざという時に備え、日ごろから洪水ハザードマップを確認し、早めの避難を心掛けましょう。

※洪水ハザードマップは、市や県などの公共施設や防災関係機関、市ホームページに掲示します。

お問い合わせは、総務課防災対策室 ☎43-7100

豪雨で下内川がはんらんし、道路が冠水(平成21年7月19日、沼館町内)

## 日ごろの心得

●洪水ハザードマップを、身近な場所に保管しましょう

このマップは、家族がいつでも見ることが出来るように、目に付く場所に保管しておきましょう。

●避難所までの道順と連絡方法を確認しましょう

自宅から避難所までの道のりに危険な場所は無いか、日ごろから家族で避難所までの道順を確認し、連絡方法を決めておきましょう。

●情報の把握に努めましょう

水害の多くは雨が原因で起こります。大雨が予想されるときは、テレビやラジオなどで情報の把握に努めましょう。

## 避難時の心得

●広報車などの呼び掛けに注意してください

災害の危険が迫ったときには、広報車などで避難を呼び掛けます。速やかに避難出来るように準備しておきましょう。

●高齢者や体の不自由なかなどの避難にご協力ください

自力で避難することが困難な高齢者や体の不自由なかなどが、安全で速やかに避難出

来るよう、家族や地域の皆さんと連絡を取り合いながら協力しましょう。

●地下施設は危険です

地下施設では外の状況が確認出来ず、一気に水が流れ込んでも逃げ遅れる可能性があります。豪雨が予想されるときは地下に降りないようにしましょう。

●避難に車は使用しない

遠隔地からの避難やお年寄り、重傷者などの歩行が困難なかと一緒に避難するなど、どうしても車を使わなければならぬとき以外は、歩いて避難しましょう。車が邪魔になり、救援、救護活動が遅れることがあります。

## 避難所を変更しました

平成20年に配布した防災マップの避難所の一部を変更しました。

○追加した避難場所(屋外)

扇田地区北側広場  
扇田地区南側広場  
(どちらも比内グラウンドそば)

○廃止した避難所・避難場所

旧大滝児童館  
白根山児童公園(屋外)  
大巻児童館  
赤川担い手センター  
旧山田小学校